

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 SPARK KID 岸谷教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 20日		～ 令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 20日		～ 令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられる。	作業療法士が常駐していることにより、活動もより課題を意識した内容を組み立てられている。 また、日頃からこども理解のための話し合いを行うことにより職員間の共通理解が深まり、より現状に沿った支援を行っている。	ケース検討や職員研修などを通して支援の質の向上を図る。 引き続き、こどもの発達段階やニーズに応じた活動内容の充実に取り組んでいきたい。
2	面談やフィードバック時の、こども・子育てに関する助言等の支援を受けられる。	保護者さまの不安や困りを取り除き、お子さまの理解を深めることで、お子さま自身の不安も軽減されると考えている。 活動内容を報告するのみではなく、最近の様子などを意識的に何うことを職員全体で心掛けている。	研修等により、職員もこどもの特性理解を深める取り組みを行う。
3	事業所内が刺激が少なく、構造化により、こどもにとってわかりやすいものになっている。	視覚的な刺激が少ないもの、わかりやすいものを職員間で共有し、意識をしている。 また、常に整理整頓を心掛け、こどもたちにとって毎回変わらない環境にて安心感を得られるように配慮している。	他事業所の環境設定等、学べる機会を設け、スケジュール提示等、さらに充実を図りたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全計画の周知や、各種マニュアル・研修・訓練についての周知及び実施。避難訓練の実施回数。	職員向け訓練等は内部のみで完結してしまい、保護者さまへの周知が不十分だった。 加えて、職員研修や訓練に十分な時間を作るのが難しかった。 法令に則った全体避難訓練においても、周知不足であり、途中入所の方へのご対応も不十分だった。	・新年度一年間の安全計画を作成し、各ご家庭に配布する。 ・各種マニュアルを、目を通しやすい位置に設置し、送迎時や面談時にお気軽に確認をしていただくようにする。 ・避難訓練の実施回数を増やすこと、それに伴う方法等を検討していく。 ・業務を改善し、様々なマニュアルの研修・訓練を確実に行える時間を作る。
2	地域のこどもや他園、他機関との交流の機会がない。 また、保護者同士の交流機会もない。	土曜日や休日の開催となるため、職員の日々の作業や準備、代休等を考慮すると、現時点では難しい。	保護者さまのニーズを第一に、新年度は定期的な開催を検討している。以前のような参観+懇談会ではなく、参観とは切り分けた交流の場を設ける等、開催方法を検討していく。
3	定期的に通信やHP、SNS等で活動内容や情報を発信できていない。	現在Instagramのみとなっている。 活動中はこども達と共に動くため、投稿に適した写真を撮ることができないのが現状。	新年度から、新しい連絡アプリの導入やそれによる情報発信に加え、業務内容を改善し、日頃の療育の様子の撮影を行いやすくするといった方法を検討していく。